

みみはら地域市民向け公開講座

オンラインシンポジウム

「死生観」を改めて考える

3月11日に開催したオンラインシンポジウムは、明治大学経営学部の早川佐知子先生より、「死から目を背けることで私たちが失うもの」と題して社会学の視点からご講演いただきました。

説明いただきました。また「死」についてタブー視をせずに受入れ、普段から慣れ親しむことが必要ではないか」という問いかけがあり、各々が「死生観」を改めて考える内容となりました。

「人生の最期について考える」とは、どんな人生を生きるかと思っています。医療者として、そして自分の家族とも日常から話し合う必要があるのではと改めて思いました」など、さまざまな感想が寄せられました。ご質問もたくさんありました。

さんいただきましたので、引き続きこのテーマで企画したいと思います。

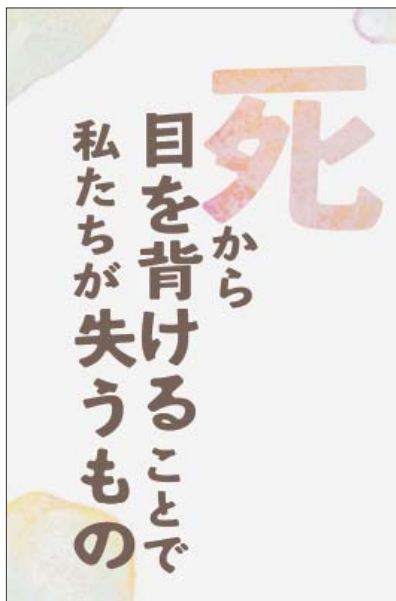


「どう生きるか、の延長線上にある人生の最期について」を考える入口として絵本やテキストを作成し、今後活用していきます

繰り返されている紛争や歴史のなかで、「死」がどう扱われてきたかを写真や画像を用いながらご

引き続き若手の横内聡医師からは、自らが医師を目指した動機や現場で「死」と直面する中で葛藤や悩みも

織り込み、若手医師としての率直な体験が語られました。また健康友の会みみはらの江戸道子会長からは、実



当日は100人を超える方が視聴参加されました



明治大学の早川佐知子先生



ご自身の体験を語ってくださった江戸道子友の会会長



約80人の新しい仲間を迎えました

みみはらグループ 新入職員オリエンテーション

みみはらグループでは、感染防止対策を厳重に行つて、4月1日から3日に新入職員約80人にオリエンテーションを実施しました。

昨年のオリエンテーションは2会場に分かれて感染リスクを分散しましたが、本年は一部のプログラムを全員で参加することで、多職種との交流で視野を広めたり、集団作りの契機とすることができました。感染防止対策を万全に行つてを前提に、集団で課題に取り組んだり、討論したりすることで新人同士の連帯も深めることができました。

特に、友の会の「たまり場」とオンラインで繋いで、友の会の会員さんから活動の紹介や歓迎のメッセージをいただいたことは、共同組織を身近に感じ、重要性を理解することができました。

今年の新人は、学校の最終学年をコロナ禍の中で過ごすという困難がありました。少しでも早く新しい環境に慣れるように、丁寧な研修や指導を行っていきます。

(新入職員オリエンテーション実行委員事務局)

認識されています。

これから計画されているだけでも、護衛艦の空母化、最新型戦闘機F35を100機以上も購入、敵基地攻撃用の長距離ミサイルの導入、日本版海兵隊の辺野古新基地配備、イージス艦の複数造船など、枚挙にいとまがありません。

「コロナ禍で、日本での格差の拡大と多くの国民の貧窮が浮き彫りになりました。子ども、学生、若者、高齢者など、世代に関係なく、その日の食事さえ欠けている人の報道が連日行われています。私たちの税金は、高価な兵器を買うためだけでなく、感染対策の強化と国民の暮らしの立て直しに使われるべきです。

今年は、政権を替えることのできる総選挙が行われます。政治は選挙で変えられます。憲法を守り、平和な未来を築くことが多くの国民の願いです。みんなの力で憲法を守っていきましょう！

(同 仁 会 報 編 集 委 員 会 事 務 局)

みみはら在宅クリニック

オープン!

2021年4月1日にみみはら在宅クリニックが新たにオープンしました。ご相談は、お電話にて。

堺市堺区老松町3丁73-2 Tel 072-241-0691 所長 奥村 伸二



政治は選挙で変えられる

9の日宣伝行動 みんなの力で憲法を守ろう



耳原総合病院近くの塩穴交差点付近で、毎月9日を中心に「憲法9条守れ!」の「9」の日宣伝行動」を職員で行っています。私たちみみはらグループは、医療・介護に従事する人間として、生命を脅かす戦争政策には一貫して反対しています。

第2次世界大戦の痛切な反省から、日本は「二度と戦争しない」という道を選び、日本国憲法を制定しました。憲法9条で「戦力を持たない、国の交戦権は認めない」と決めました。しかし、安倍政権を引き継いだ菅首相をはじめとする政権は、憲法改悪に執着し続けています。

国民多数の反対の声に、明文改憲こそ声高にはいつていませんが、安倍政権時代に閣議で憲法解釈を変更して、アメリカと協同で戦争する集団的自衛権を容認しました。菅政権は海外で戦争できる能力を獲得するため、多額の税金を使って自衛隊の戦力を増強しています。日本は今や世界有数の軍事大国として